

「小松商工会議所景気見通し調査」

結果報告書

調査期間 令和 3年 9月

小 松 商 工 会 議 所

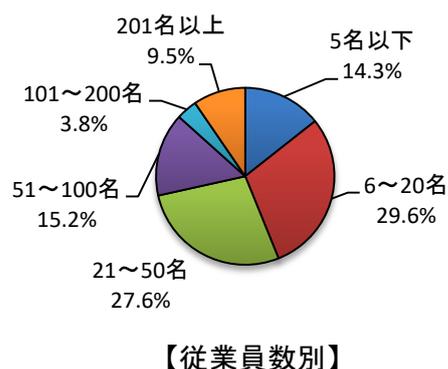
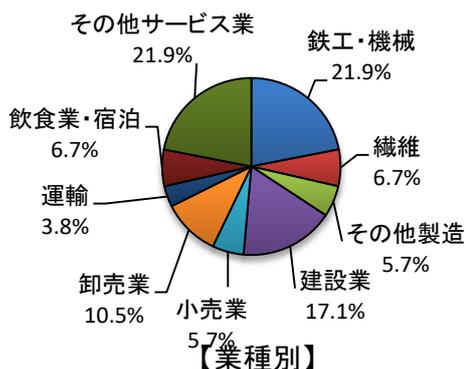
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 222社

回答企業数 105企業（回答率 47.3%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		2	6	7	2	6	23
	繊維	2		3	2			7
	その他製造	1	3	1	1			6
建設業			9	7	2			18
小売業		2	2		1	1		6
卸売業		2	4	4		1		11
サービス業	運輸			1	2		1	4
	飲食業・宿泊	5		2				7
	その他サービス業	3	11	5	1		3	23
合計		15	31	29	16	4	10	105



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 … D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 … 令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月)

今 期 … 令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月、但し9月は見込み)

来 期 … 令和3年度第3四半期(令和3年10月～12月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感 … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高 … DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 … DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	8	9	1	1		1	2	2		1	2	2	4	3
不変	15	12	4	4	2	2	12	11	4	2	4	5	24	25
悪化		2	2	2	3	2	4	5	2	3	5	4	6	6
無回答					1	1								
総計	23		7		6		18		6		11		34	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

【今期：好転の理由】

取引先の増産により売上高は良いが鋼材単価の上昇を認められない為、採算は悪化（鉄工・機械）
建設機械の増産基調による（鉄工・機械）
コマツ(産機)を除く数社の客先で受注が増えている（鉄工・機械）
受注が増えている（鉄工・機械）
業界的に繁忙期に向かうから（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
新幹線工事に伴う工事を受注できた（建設業）
第1四半期に比べ、格段に受注が増えた（建設業）
第1四半期は例年落ち込む（運輸）
建設機械関連の物量が増えている（運輸）
ワクチンの普及により先行きに明るさが見えてきた（卸売業）
主力市場の建機業界をはじめ産業機械など生産拡大が広がっている（卸売業）
繁忙期のため売上が増加した（その他サービス業）
公共工事(機械器具)の受注増（その他サービス業）

【今期：不変の理由】

大手客先からの安定した受注（鉄工・機械）
受注、依然高水準で推移（鉄工・機械）
過去最高レベルの受注が続いているため（鉄工・機械）
工作機械は少しずつ増加している（鉄工・機械）
受注量は引き続き高水準であるが、材料費、人件費が上昇中（鉄工・機械）
主力の観光バスがコロナ禍の影響で受注が激減し、見通しが見えない（鉄工・機械）
今期は前期と同等の生産量の為（鉄工・機械）
受注、売上高に大きな変化なし（鉄工・機械）
衣料用繊維(レグ)の内需不振の継続（繊維）
工事受注高が昨年と現時点では変化なし（建設業）
公共工事の減少（建設業）
昨年と比べて低調な受注環境にある（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
ウッドショックやコロナウイルスの影響を受けつつも、何とか受注獲得が出来ている（建設業）
前期から変化なし（運輸）
第2四半期中に、全国的に行動規制が拡大したため（運輸）

お盆などの繁忙期により若干売上などは上がったが、コロナ禍により、例年の賑わいは感じられなかった為（小売業）
コロナで業界(食品、菓子、パン等)が低迷している（卸売業）
余り変化なし（卸売業）
コロナ感染者の拡大、9/30 まで、まん延防止措置（飲食業・宿泊）
コロナウイルス感染者の減少が見られず客足が伸びない（飲食業・宿泊）
コロナの影響による不景気（飲食業・宿泊）
従業員一丸となり、頑張った（その他サービス業）
ニーズ、収入ともに安定（その他サービス業）
顧客数が少ない（その他サービス業）
依然として新型コロナウイルスの感染状況が収束しないため（その他サービス業）
飲食を中心にいくぶん戻りが感じられる（その他サービス業）
前期同様、昨年対比で悪化(減少・低下)に変化なし（その他サービス業）
公的機関による業務が中心で安定している（その他サービス業）
そこまで外部要因は関係ないと思っているから（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

新型コロナが長く続いて、自社の客先への前売りが悪化の影響で受注量が少なく自社の生産売上も悪化（繊維）
コロナ禍のため、行事やイベントの中止により、印刷物の依頼が激減した（その他製造）
原材料の高騰ならびに資材不足（建設業）
需要の先送り（小売業）
コロナの影響が続くから（卸売業）
得意先の皆さんがここへきて、本当に疲弊している（卸売業）
売上が下がってきているのに加えて、原価が上がってきている（卸売業）
新型コロナウイルスによる、まん延防止法のため（飲食業・宿泊）
コロナ禍で、お客様が外食を控えていること（飲食業・宿泊）
新型コロナの影響でお客様が動かない（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

材料に伴う価格値上げを実施している。さらに増加すると思う（鉄工・機械）
取引先の増産により売上高は良いが、鋼材単価の上昇を認められない為採算は悪化（鉄工・機械）
得意先の生産量が来期増えている為（鉄工・機械）
コマツ建機生産増（鉄工・機械）
建設機械が好調の為（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
レグ用はシーズンインするため、及びスポーツ関連需要に期待（繊維）
年末需要（その他製造）
現状は先行き不透明感あり（建設業）
引き続き、受注が増える予想（建設業）
コロナ終息を見据えた動きが出て来た（運輸）
感染者減少により、規制が緩和され、人の動きの増加が見込まれる事への期待から（小売業）
コロナ下、ワクチンの普及により経済が動く傾向（卸売業）
ワクチンの効果で良くなることを祈っている（飲食業・宿泊）
全体が活発になると思われる（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

受注、依然高水準で推移（鉄工・機械）
受注量は引き続き高水準見込みであるが、材料費、人件費がまだ上昇する見込み（鉄工・機械）
受注、売上高予測に大きな変化なし（鉄工・機械）
主力の観光バスがコロナ禍の影響で受注が激減し、見通しが見つからない（鉄工・機械）
見込みとして来年は下がるが今年中は状況が変わらないとの報告を受けている（鉄工・機械）
得意先の生産計画や受注情報は概ね良好（強気）のため（鉄工・機械）
売上計画に増減なし（鉄工・機械）
不確実性が高い（鉄工・機械）
国や県がコロナ対策に無策で、根拠のない自粛の依頼を続ける限り景況は好転しない（繊維）
見通している工事が、順調に発注があれば変化はなし（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
好転するには今しばらく期間を要すると思われる（建設業）
第2四半期も第3四半期も同様に忙しい（建設業）
衆院選の結果如何で影響があるかもしれない（建設業）
ウッドショックやコロナウイルスの影響を受けつつも、何とか受注獲得が出来ている（建設業）
感染者数は減少しているものの、学生・児童の感染拡大が懸念されるため（運輸）
コロナの影響が続くから（卸売業）
主力市場の建機業界をはじめ、産業機械など生産拡大が広がっている状況が継続する（卸売業）
旅行、イベント、冠婚葬祭等復活するまでは良くならない（卸売業）
回復するとは思えない（卸売業）
コロナ禍の状況がどうなっていくのかまだ見えない為（飲食業・宿泊）
コロナウイルスに対する新たな方針が見えない（飲食業・宿泊）
寒い時期に入り新型コロナウイルス感染者が増えると思うから（飲食業・宿泊）
ウィズコロナで、予想は難しい（その他サービス業）
ニーズ、収入ともに安定（その他サービス業）
見込み不明の為（その他サービス業）
緊急事態宣言が9月末まで延長される等、状況に変化が見られない（その他サービス業）
予測不能のため（その他サービス業）
公的機関による業務が中心で安定している（その他サービス業）
今期同様を予想する（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

取替需要の先送り 興味が薄れた予算削減（小売業）
新規商品購入の話がない。車検整備対象台数も減る（小売業）
ここに来て、顧客の廃業が目立つ（卸売業）
原価の上昇に歯止めが効かない（卸売業）
海外サプライヤーからの供給が滞り、建設機械メーカーが減産を予定している（運輸）
コロナウイルス終息の兆しが見えない為（飲食業・宿泊）
学校の休校などがあるから（その他サービス業）

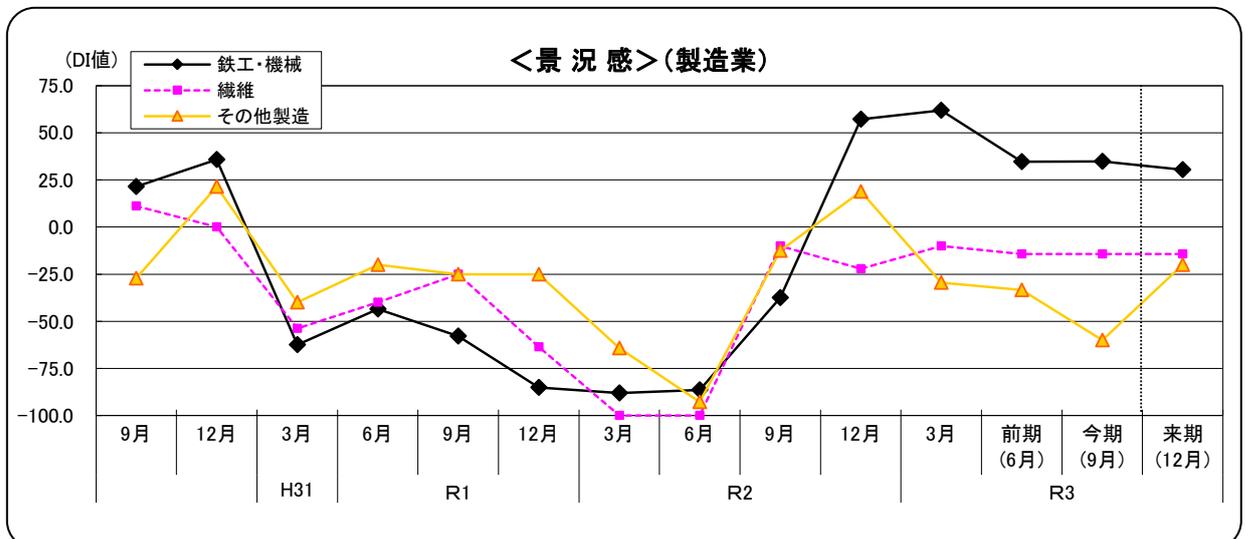
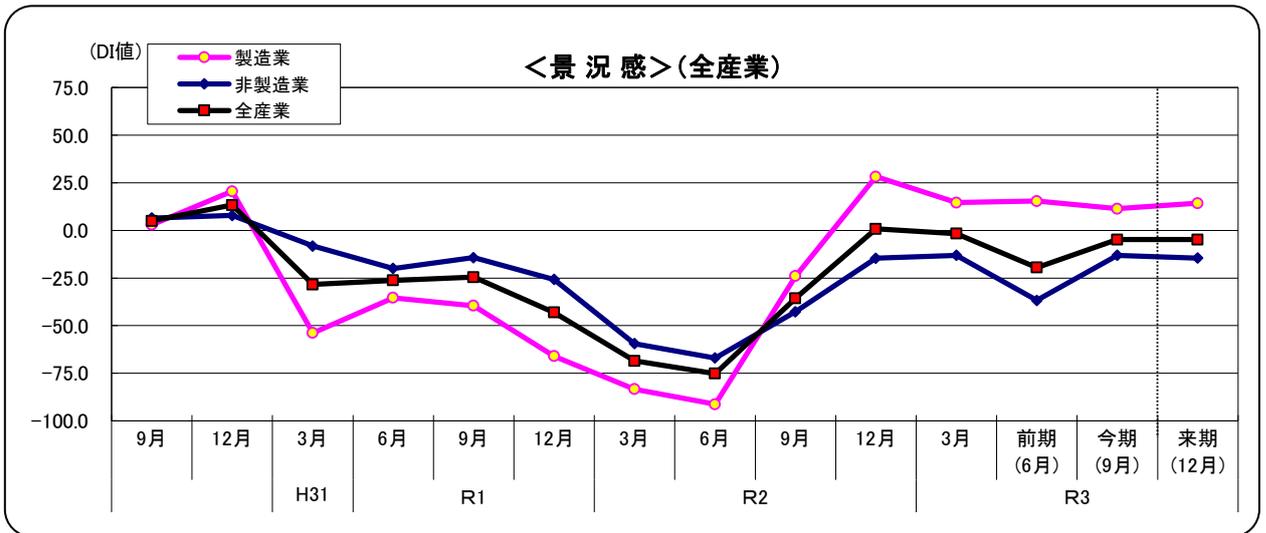
(1)-2 DI値

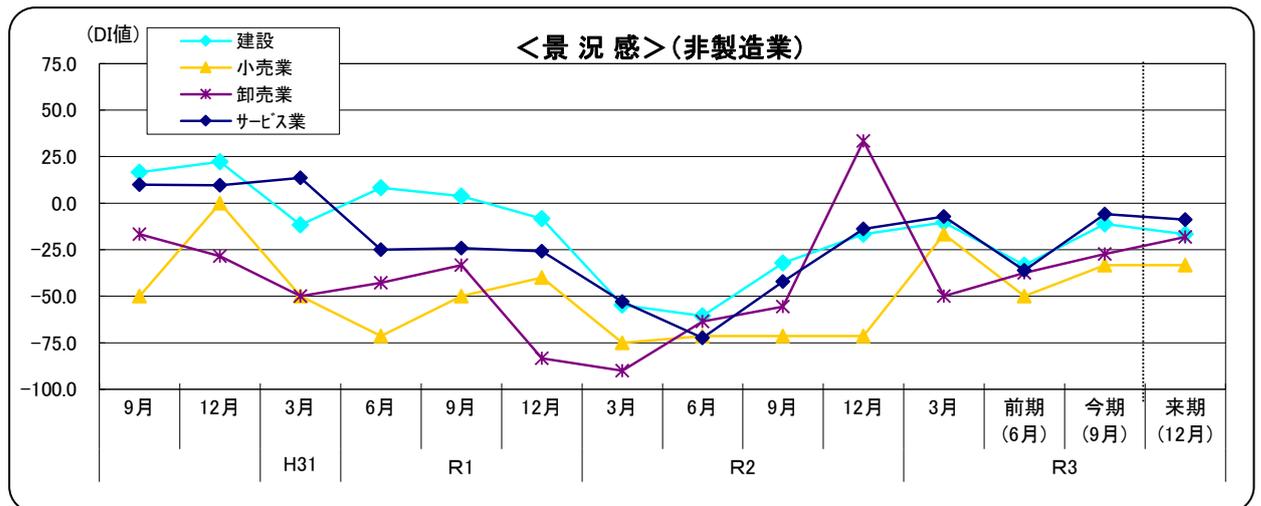
(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	34.6	34.8	30.4
	繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3
	その他製造	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 20.0
	製造計	15.4	11.4	14.3
非製造業	建設業	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 16.7
	小売業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3
	卸売業	▲ 37.5	▲ 27.3	▲ 18.2
	サービス業(運輸含む)	▲ 36.1	▲ 5.9	▲ 8.8
	非製造計	▲ 36.7	▲ 13.0	▲ 14.5
全体		▲ 19.5	▲ 4.8	▲ 4.8
改善予測		22.0	0.0	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

(1)-3 年次別の推移





製造業については、鉄工・機械において 前期 34.6 ポイント、今期 34.8 ポイントと建機業界の牽引により、高い値が続いている。繊維において 前期・今期ともに ▲14.3 ポイントと変わらず、その他製造において 前期 ▲33.3 ポイント、今期 ▲60.0 ポイントと更に低下し、景況の二極化が続いている。

非製造業については、建設業において 前期 ▲33.3 ポイント、今期 ▲11.1 ポイント、小売業において 前期 ▲50.0 ポイント、今期 ▲33.3 ポイント、卸売業において 前期 ▲37.5 ポイント、今期 ▲27.3 ポイント、サービス業において 前期 ▲36.1 ポイント、今期 ▲5.9 ポイントと少し上昇した。

景気は少し改善したが、原材料不足やウッドショックによる価格の高騰などの影響で受注が好調な業種においても見通しは低く、その他製造や小売業など一部業種は厳しい状態が続いている。コロナの影響が大きい業種を含め概ね全業種において見通しは低いまま停滞している。

(単位:DI)

区分	今期(R3.9)			来期(R3.12)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	11.4	6	5	↘ 14.3	↘ 7	↘ 2	36社
非製造業	▲ 13.0	▲ 12	▲ 7	↘ ▲ 14.5	↘ ▲ 17	↘ ▲ 8	69社
全体	▲ 4.8	▲ 4	▲ 2	→ ▲ 4.8	↘ ▲ 5	↘ ▲ 5	105社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(1) - (5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和3年度第2四半期)の状況

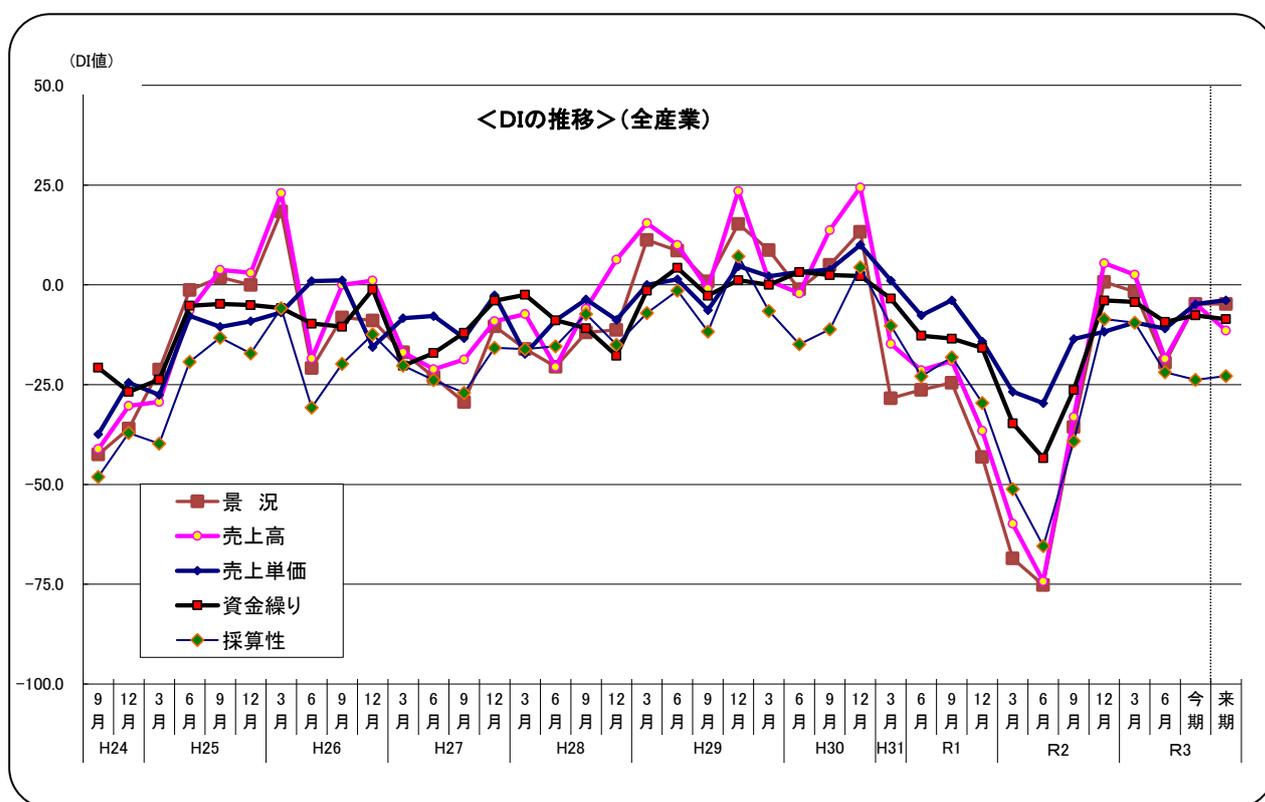
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	34.8	39.1	13.0	13.0	13.0
繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6
その他製造	▲ 60.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 66.7
建設業	▲ 11.1	▲ 27.8	▲ 16.7	▲ 5.6	▲ 33.3
小売業	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7
卸売業	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5
サービス業	▲ 5.9	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 17.6	▲ 29.4
全体	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 7.6	▲ 23.8

来期(令和3年度第3四半期)の見通

(単位:DI)

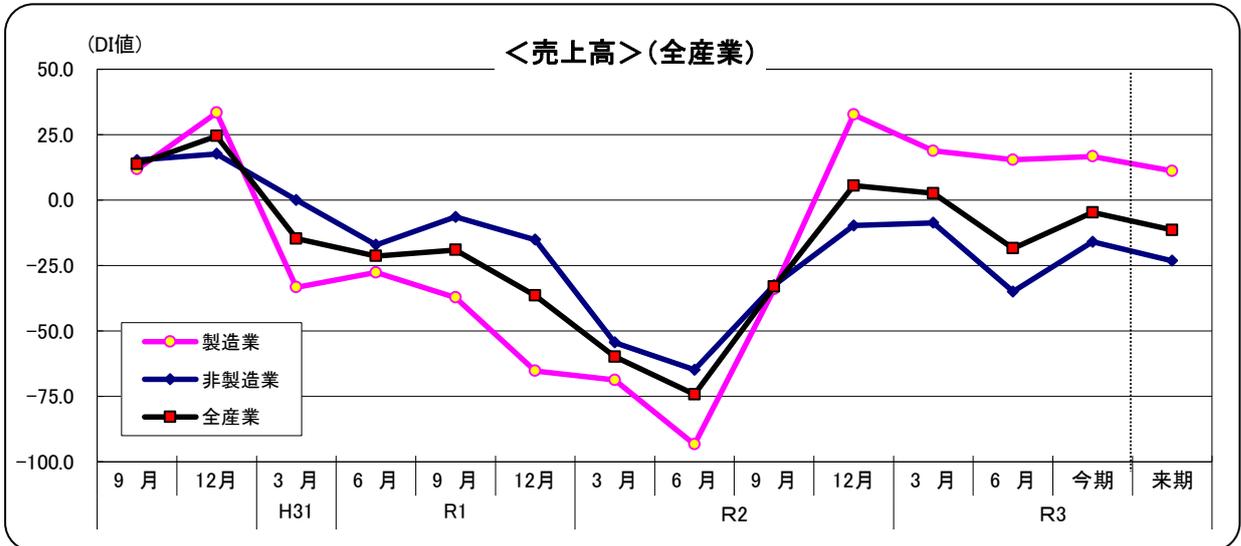
業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	30.4	30.4	21.7	8.7	0.0
繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 28.6
その他製造	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
建設業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 50.0
小売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 40.0	0.0	▲ 16.7
卸売業	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 36.4
サービス業	▲ 8.8	▲ 11.8	▲ 8.8	▲ 11.8	▲ 20.6
全体	▲ 4.8	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 8.6	▲ 22.9
改善予測(今回)	0.0	▲ 6.6	1.0	▲ 1.0	0.9
改善予測(R3.6)	22.0	17.7	6.7	1.6	8.2
改善予測(R3.3)	▲ 18.1	▲ 21.4	▲ 4.4	▲ 7.8	▲ 15.5



(2) 売上高

(単位: DI)

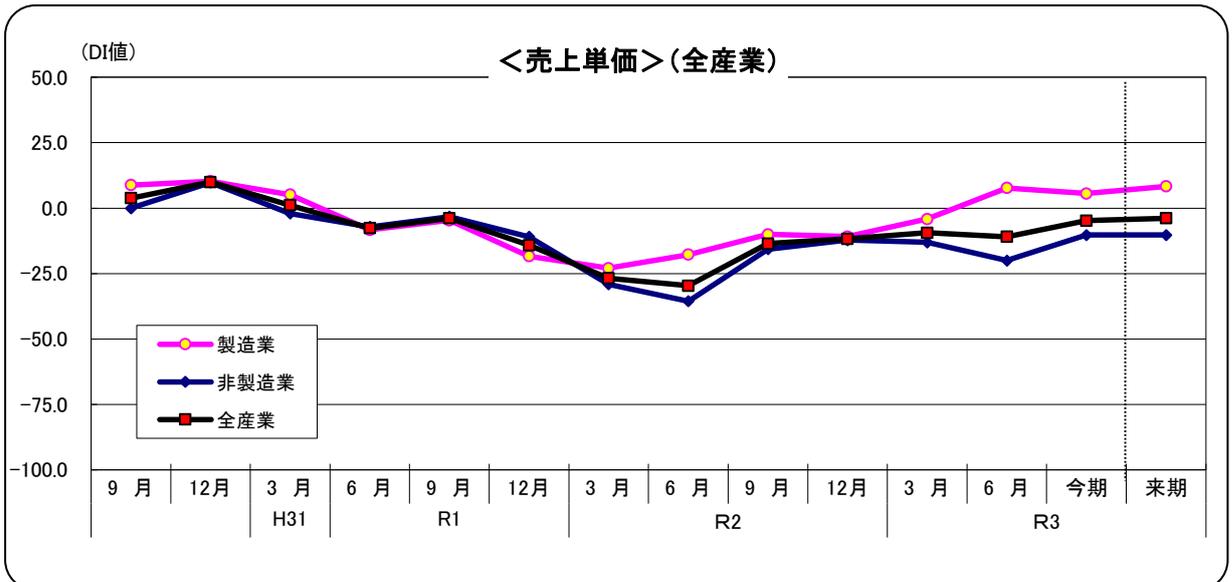
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	30.4	▲ 14.3	▲ 33.3	11.1	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 36.4	▲ 11.8	▲ 23.2	▲ 11.4
今期	39.1	▲ 14.3	▲ 33.3	16.7	▲ 27.8	▲ 16.7	▲ 36.4	▲ 2.9	▲ 15.9	▲ 4.8
前期	30.8	▲ 14.3	▲ 16.7	15.4	▲ 29.6	▲ 55.6	▲ 62.5	▲ 27.8	▲ 35.0	▲ 18.5



(3) 売上単価

(単位: DI)

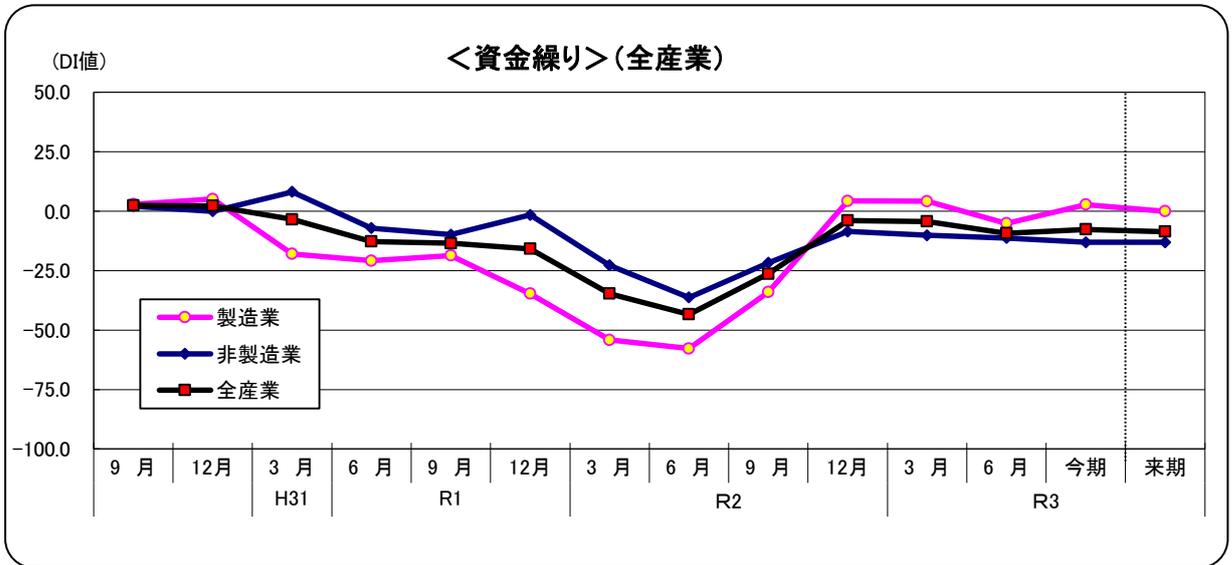
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	21.7	▲ 14.3	▲ 16.7	8.3	▲ 5.6	▲ 40.0	▲ 9.1	▲ 8.8	▲ 10.3	▲ 3.8
今期	13.0	0.0	▲ 16.7	5.6	▲ 16.7	0.0	▲ 9.1	▲ 8.8	▲ 10.3	▲ 4.8
前期	11.5	▲ 14.3	16.7	7.7	▲ 14.8	▲ 55.6	▲ 25.0	▲ 13.9	▲ 20.0	▲ 10.9



(4) 資金繰り

(単位: DI)

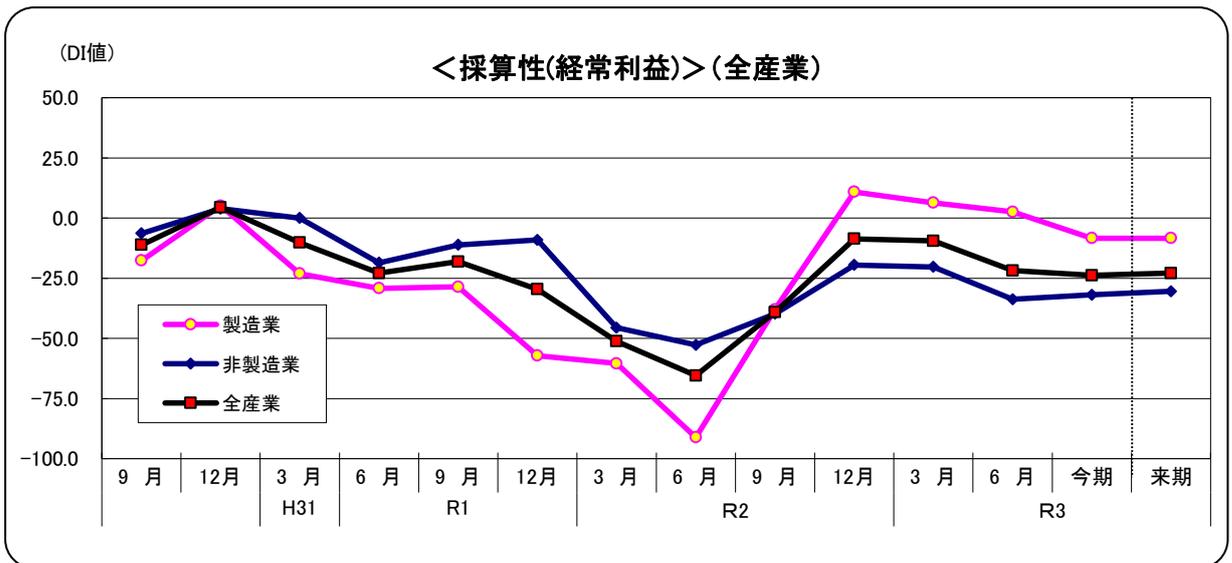
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	8.7	▲ 14.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 18.2	▲ 11.8	▲ 13.0	▲ 8.6
今期	13.0	▲ 14.3	▲ 16.7	2.8	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 17.6	▲ 13.0	▲ 7.6
前期	15.4	▲ 71.4	▲ 16.7	▲ 5.1	3.7	▲ 44.4	0.0	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.2



(5) 採算性(経常利益)

(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	0.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 36.4	▲ 20.6	▲ 30.4	▲ 22.9
今期	13.0	▲ 28.6	▲ 66.7	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 45.5	▲ 29.4	▲ 31.9	▲ 23.8
前期	19.2	▲ 28.6	▲ 33.3	2.6	▲ 29.6	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 33.8	▲ 21.8



今期(第2四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=102)

新型コロナウイルスによる売上減少	43社	42.2%	42.2%
従業員の確保難	42社	41.2%	41.2%
原材料の高騰	38社	37.3%	37.3%
需要の停滞、売上の減少	32社	31.4%	31.4%
仕入単価の上昇	30社	29.4%	29.4%
経費の増加	25社	24.5%	24.5%
エネルギーコストの増加	13社	12.7%	12.7%
販売単価の低下・上昇難	12社	11.8%	11.8%
競争の激化	8社	7.8%	7.8%
後継者の育成・確保	8社	7.8%	7.8%
その他	7社	6.9%	6.9%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

品質問題(鉄工・機械)
新規の開発や商売の話がコロナ自粛のせいで前に進まない(繊維)
商品仕入の困難(商品不足)(その他サービス業)
特になし

	鉄工・機械 (n=23)	繊維 (n=7)	その他製造 (n=5)	建設業 (n=18)	小売業 (n=6)	卸売業 (n=11)	サービス業 (n=32)
新型コロナによる売上減少	21.7%	85.7%	60.0%	5.6%	66.7%	72.7%	50.0%
従業員の確保難	69.6%		20.0%	61.1%	33.3%	9.1%	34.4%
原材料の高騰	73.9%	14.3%	60.0%	50.0%	50.0%	18.2%	9.4%
需要の停滞、売上の減少	8.7%	42.9%	40.0%	16.7%	16.7%	81.8%	37.5%
仕入単価の上昇	26.1%	14.3%	60.0%	61.1%	16.7%	18.2%	18.8%
経費の増加	26.1%	42.9%	20.0%	33.3%	16.7%	9.1%	21.9%
エネルギーコストの増加	13.0%	42.9%	20.0%	5.6%	16.7%		12.5%
販売単価の低下・上昇難	13.0%	28.6%		11.1%		27.3%	6.3%
競争の激化		14.3%		11.1%	50.0%		6.3%
後継者の育成・確保		14.3%		11.1%			15.6%
その他	4.3%	14.3%		%			15.6%

Q具体的な問題点や対応策

鋼材の店売り単価の上昇を認めて欲しい(鉄工・機械)
値上げを全部認めて頂ければ、採算性も良くなる(鉄工・機械)
原材料が高騰している上に入手も困難になってきている。先々の動向も読みづらい(鉄工・機械)
素材(鋼板)をはじめいろいろな物の入荷状況が悪化してきた。せつかくの需要増に水を差すようなことにならなければいいが(鉄工・機械)
客先と交渉、改善してもらおう。不可分は吸収する(鉄工・機械)
人材派遣の流出に歯止めがかからない(鉄工・機械)
製造人員の確保に困っている。現場向け女性の採用を始めた(鉄工・機械)

人材確保困難 高齢者の雇用 (鉄工・機械)
実習生の出入国がコロナの影響を受け、人員の管理が困難。対策として特定技能を検討 (鉄工・機械)
求人PRをもっと積極的にいろいろな媒体を駆使する (鉄工・機械)
納期遅れ拡大 (鉄工・機械)
省力化設備の導入等で対処 (鉄工・機械)
環境配慮型の企業に改善していかないといけない (繊維)
コロナの問題が長引いて業績は悪化方向であるが、現況に対応しつつアフターコロナに向けて差別化、独自化の開発を積極的に進める (繊維)
新しく売上をつくる分野を考えているところ (その他製造)
従業員が高齢化しているが、世代交代が進まない (運輸)
生活様式の変化により、利用者が減少している (運輸)
土木のイメージが悪すぎる (建設業)
鋼材の値上がり、入手難 (建設業)
新卒の確保が難しい (建設業)
人材育成について難航中、コンサルや研修開催し今後社員のスキルアップを継続していく (建設業)
採用活動の強化、人材育成の強化を図っている (建設業)
部品、カー用品の値上がり、建物、備品老朽化にともない補修、買い替え経費の増加 (小売業)
新規顧客の開拓 既存顧客の深堀 (小売業)
メインの顧客がヒマだから、どうしようもない (卸売業)
得意先に元気がない (卸売業)
消費者へのアピールを強くする (卸売業)
新卒、専門職者の採用が中々決まらない (卸売業)
コロナ影響次第 (飲食業・宿泊)
食材(肉・野菜等)の仕入価格値上がり (飲食業・宿泊)
なぜ今回、小松市が補償されないのか、疑問である (飲食業・宿泊)
ワクチン接種及び治療薬の普及が求められる (その他サービス業)
貸出金利の低下、運転資金需要の低下や貸出減少 (その他サービス業)
設備投資計画が市場にない (その他サービス業)
特にない。

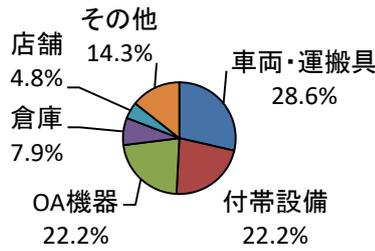
設備投資の動向

(1)今年度前半(令和3年4月～令和2年9月の6ヶ月)に設備投資を

	実施した		＜業種ごとの実施した会社の比率＞
	社数	比率	
鉄工・機械	13社	56.5%	56.5%
繊維	3社	42.9%	42.9%
その他製造	3社	50.0%	50.0%
製造業	19社	52.8%	52.8%
建設業	8社	44.4%	44.4%
小売業	1社	16.7%	16.7%
卸売業	7社	63.6%	63.6%
サービス業(運輸含む)	12社	35.3%	35.3%
全体	47社	44.8%	44.8%

Q. 設備投資(今年度前半/内容)

車両・運搬具	28.6%
付帯設備	22.2%
OA 機器	22.2%
倉庫	7.9%
店舗	4.8%
その他	14.3%

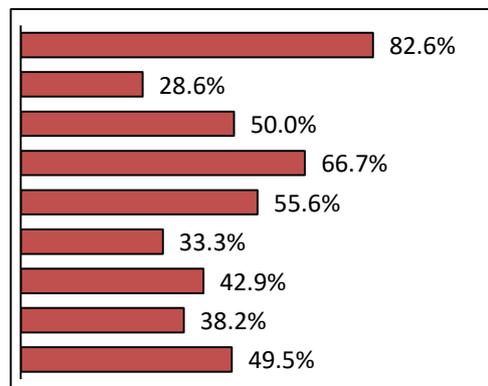


※その他……溶接ロボット (鉄工・機械)
生産設備 (鉄工・機械)

(2) 今年度後半(令和3年10月～令和3年3月の6ヶ月)に設備投資を

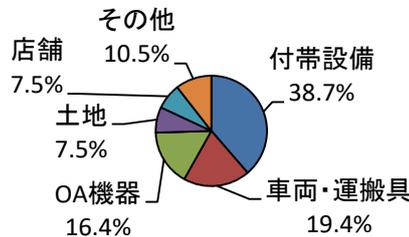
	計画している	
鉄工・機械	19社	82.6%
繊維	2社	28.6%
その他製造	3社	50.0%
製造業	24社	66.7%
建設業	10社	55.6%
小売業	2社	33.3%
卸売業	3社	42.9%
サービス業(運輸含む)	13社	38.2%
全体	52社	49.5%

<業種ごとの計画している会社の比率>



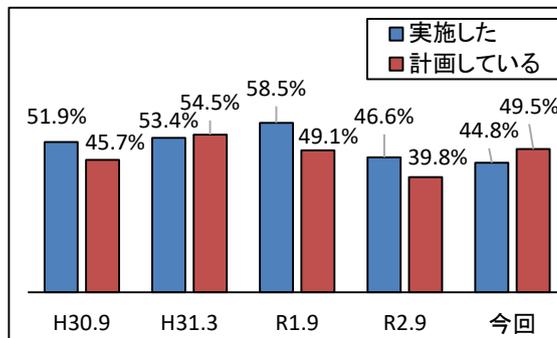
Q. 設備投資(今年度後半/内容)

付帯設備	38.7%
車両・運搬具	19.4%
OA 機器	16.4%
土地	7.5%
店舗	7.5%
その他	10.5%



※その他……生産設備 (鉄工・機械)
建設機械 (建設業)
資材購入 (建設業)

	実施した	計画している
H30.9	51.9%	45.7%
H31.3	53.4%	54.5%
R01.9	58.5%	49.1%
R02.9	46.6%	39.8%
R03.9	44.8%	49.5%



「実施した」44.8%と、前回より更に1.8ポイント下降したが、今回「計画している」が49.5%と少し上向いてくるようだ。その中で、鉄工・機械が「実施した」56.5%、「計画している」82.6%と高く、その実施・計画内容として「付帯設備」の割合が高かった。

■ その他、意見・要望

①働き方改革の行き過ぎがあり、見直した方がよい（鉄工・機械）
②コロナワクチンが世界中に普及し、新たなコロナ株が発生しなくなるまで厳しい戦いが続くと思われる。コロナ禍の経済活動をどう動かすかが、今後の課題である（繊維）
③販路拡大したいが、あまりいい回答が得られない。また取り上げても頂けない (その他サービス業)
④金沢は食文化を守る為に色々な面で保護されている様に感じる。伝統食文化(和食)が特に。金沢だけではなく石川県全体で取組む（飲食業・宿泊）

会議所コメント：

②③④

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

①②③④

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



議員・評議員各位
「小松商工会議所景気見通し調査」
「新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 _____ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸
 6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業
 従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名
 5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

景況・業況の動向

○前期＝令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月)

○今期＝令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月、但し9月は見込み)

○来期＝令和3年度第3四半期(令和3年10月～12月)

	I. 今期(第2四半期)の状況	II. 来期(第3四半期)の見通し
	前期(第1四半期)と比べた 今期(第2四半期)の状況	今期(第2四半期)と比べた 来期(第3四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

今期(第2四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇 | 3. 経費の増加 |
| 4. 販売単価の低下・上昇難 | 5. エネルギーコストの増加 |
| 6. 原材料の高騰 | 7. 需要の停滞、売上の減少 |
| 8. 従業員の確保難 | 9. 後継者の育成・確保 |
| 10. その他() | |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

--

設備投資の動向

今年度前半＝令和3年4月～令和2年9月の6ヶ月
 今年度後半＝令和3年10月～令和4年3月の6ヶ月

1. (今年度前半) 設備投資を		今年度前半 実施内容	投資内容	今年度後半 実施内容	2. (今年度後半) 設備投資を	
1. 実施した 2. 実施していない		1	土地	1	1. 計画している 2. 計画していない	
		2	店舗	2		
		3	倉庫	3		
		4	車輛・運搬具	4		
		5	付帯設備	5		
		6	OA機器	6		
		7	福利厚生施設	7		
		8	その他	8		

新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】令和2年同月と比べた令和3年8月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問2】令和2年同月と比べた令和3年7月～9月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問3】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします) 売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満 2. +20%程度 3. +30%程度 4. +40%程度 5. +50%以上

【設問4】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和3年8月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問5】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和3年7月～9月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上) 2. 減少(20%未満) 3. 横ばい 4. 増加

【設問6】(設問5で「選択肢4」を選択した方にお伺いします) 売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満 2. +20%程度 3. +30%程度 4. +40%程度 5. +50%以上

貴社が抱えている経営課題について

【設問7】現在、貴社が抱えている経営課題についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 販路拡大(既存・新規) | 2. 新分野への参入 |
| 3. 働き方改革への対応 | 4. 人員の適正化 |
| 5. コスト削減 | 6. 設備投資 |
| 7. 資金調達 | 8. 事業承継 |
| 9. デジタル化・IT活用 | 10. 感染症対策・BCP対応 |
| 11. その他() | |

行政に求める支援策について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により先行き不透明な経営環境の中、行政に求める支援策についてお聞かせください。

【設問8】今後必要な行政の支援策についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 補助金等の充実 | 2. 補助金等の要件緩和や手続きの簡素化 |
| 3. 低利・無利子融資などの金融支援 | 4. 各種減税・納付猶予 |
| 5. 販路開拓に関する支援 | 6. 消費の喚起、観光の掘り起こし |
| 7. テレワーク・在宅勤務の導入に対する支援 | 8. デジタル化対策に関する支援 |
| 9. 事業・業務転換に関する支援 | 10. 休業・自粛など事業縮小に対応した支援 |
| 11. その他() | |

【設問9】(設問8で「選択肢1」を選択した方にお伺いします)補助金等の充実について具体的な内容をお聞かせください。

【複数選択可】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 売上減少に対する追加の給付金・支援金 | 2. 雇用の維持 |
| 3. 売上向上等を目的とした設備導入 | 4. 新型コロナ感染防止対策 |
| 5. 販路開拓 | 6. その他() |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和3年度第2四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/SBQdnMmedSM894L96>



回答締切:9月28日(火)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)